

平成23年度明るい選挙啓発 ポスターコンクール 優秀賞作品

神奈川県選挙管理委員会



海老名市立大谷小学校1年
大理 瑞月



相模原市立夢の丘小学校2年
清水 とも



海老名市立杉本小学校3年
東 泰広



海老名市立上屋小学校4年
徳田 翼



厚木市立鷺尾小学校5年
石垣すみれ子



伊勢原市立石田小学校5年
三宮 辰二郎



伊勢原市立成瀬小学校5年
高橋 青空



海老名市立杉本小学校5年
赤間 麗奈



厚木市立緑ヶ丘小学校6年
藤原 葵



伊勢原市立伊勢原小学校6年
濱島 樹



伊勢原市立比々多小学校6年
石井 一馬



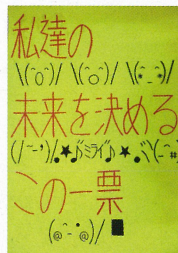
伊勢原市立緑台小学校6年
山崎 勇人



川崎市立東橋中学校1年
齋藤 実弥



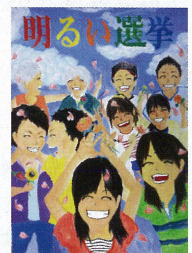
神奈川県立相模原中等教育学校1年
三村 萌恵



秦野市立渋沢中学校1年
中島 寛智



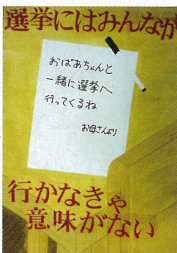
伊勢原市立伊勢原中学校1年
三場 純香



伊勢原市立伊勢原中学校2年
尾崎 愛海



伊勢原市立中沢中学校2年
濱島 幹大



相模原市立青根中学校3年
太田 実加子



聖園女学院中学校3年
平川 真矢



伊勢原市立山王中学校3年
秋山 遥



神奈川県立弥栄高等学校1年
武 明日香



神奈川県立神奈川工業高等学校2年
宮崎 風



川崎市立川崎総合科学高等学校2年
照井 沙織



川崎市立川崎総合科学高等学校2年
吉川 美冴貴



神奈川県立相模大野高等学校2年
白井 美帆



東海大学付属相模高等学校3年
金森 くるみ

あらまし

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」は、明るい選挙を推進するために、小学校・中学校・高等学校等の児童・生徒の皆さんを対象に、毎年行われています。

今年もたくさんの応募があり、しかも力作ぞろいでした。そのため選考が難しく、審査員も審査に当たり大変苦労しました。応募された皆さん、御協力いただいた先生方に深く感謝します。

これからも、一人でも多くの皆さんが、政治や選挙に興味を持って、応募してくださることを期待しています。

応募状況

今年度は、216校から、3,139点の応募がありました。

学校	年度	19	20	21	22	23
小学校		1,619	1,454	1,576	1,713	1,911
中学校		965	972	928	747	1,169
高等学校		6	13	43	9	59
合計		2,590	2,439	2,547	2,469	3,139

審査結果

平成23年9月22日に行われた県の審査会において、小学生12名、中学生9名、高校生6名の計27名の方が優秀賞を受賞されたほか、小学生19名、中学生23名、高校生1名の作品が佳作となりました。

審査員

忽滑谷 章（財団法人神奈川産業振興センターデザイン専門相談員）

三浦 潤子（神奈川県明るい選挙推進協議会監事）

山本 文彦（神奈川県教育局教育指導部高校教育企画課主任主事）

神奈川県選挙管理委員会委員

神奈川県選挙管理委員会書記長

審査講評

審査員代表 忽滑谷 章

今年の作品は、東日本大震災を受けキャッチコピーに「日本の未来」や「思いやり」「絆」などの言葉が多く見られました。「未来」という言葉は優秀作・佳作（70点）のうち、実に31点に使われています。3月11日以降の現状をふまえて日本の未来をどう創造・復興してゆくか、低学年から高学年まで、より深く考えているようです。特に高学年での応募が増え、言葉とデザインに新しい工夫も見られました。改めて、正しい民主主義のもと公平、公正な選挙で優れた代表を選び、より豊かな国を創造する「心がけ」が必要と感じます。

今回の県の優秀作品の中で、高2・吉川美冴貴さんの「その箱には、未来がつまっている」は、投票箱の上面に青空と雲、正面を見つめている少年らしき顔が繊細なイラストで描かれ、コピーの意味ともよく合っていて、見事に、文部科学大臣・総務大臣賞を受賞しました。また、（財）明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞を受賞した小6・山崎勇人君の「ふみだそう！明るい未来」は、擬人化した投票箱の足がありえない形になって日本列島から空中へふみだしている大胆な表現です。また、同じ賞を受賞した小5・石垣すみれ子さんの「笑顔の一票」は、丸の中のいろいろな笑顔をハート型に置いて大きな笑顔にしたユニークなアイデアで、投票箱の後ろから出た手が中を開けて見せている構成とその書体がよいと思います。

その他、中3・太田実加子さんの「選挙にはみんなが行かなきゃ意味がない」は、置き手紙とペンを繊細なイラストで描き、投票行動を静かに呼びかけた新しい視線で日常のシーンをとらえて選挙への関心を喚起しています。中3・平川真矢さんの「凜と 未来へ一票！」は、凜とは寒さで身が引き締るの意ですが、未来への真剣なる姿勢を弓道精神で訴えるイラストの表現がよい。また、佳作の中の、小5・後藤翼君の「きらめく未来」は、発展する街を象徴する巨大な橋脚が、宇宙空間らしい空を、投票箱（所）を運ぶロケットが飛び回り、無数の星、鳥、雲や月が、それぞれ一票を持ち、投票を呼びかけて廻る想像力がよい。例えば、将来、インターネットによって投票所へ行かなくてもよい選挙手法が実現できたら、こんな風景なのかもしれません。

ひとり一票ですが、選挙によって自分の意志を反映させるのは大切なことです。来年もますます新しいアイデアと解釈で工夫した作品を期待しています。